

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 21日

岐阜県知事 殿

提出者

住 所 岐阜県本巣市浅木318番地1

氏 名 一丸ファルコス株式会社

代表取締役 安藤 芳彦

電話番号 058-320-1030

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	一丸ファルコス株式会社
事業場の所在地	岐阜県本巣市浅木318番地1
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：化学工業
② 事業の規模	製品出荷額：79億円（前年度実績）
③ 従業員数	229名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	化粧品配合用動植物抽出エキス・健康食品素材原料の製造等 活性汚泥：再生処理業者に委託して、堆肥等に再資源化 その他汚泥：中間処理業者に委託して焼却後、埋め立て処分 廃溶剤：再生処理業者に委託して、代用燃料として再資源化 有機性の酸性廃液：中間処理業者に委託して中和後、生成物の一部をセメント原料として再資源化 廃プラスチック類：中間処理業者に委託して焼却、焼却灰を熔融処理後、路盤材として再資源化 動植物残渣：再生処理業者に委託して、堆肥として再資源化



(第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

```

生産部 部長 産業廃棄物管理責任者
|
生産部生産管理課 課長 処理計画作成担当者
|
生産部生産管理課 廃棄物担当者

```

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	270 t	631 t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物発生抑制を目的とした生産方法の検討をする。</li> <li>・ 排水処理施設における余剰汚泥発生抑制の検討。</li> <li>・ 廃油の再生利用を行う。</li> </ul>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	240 t	500 t
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物発生抑制を目的とした生産方法の検討を行う。</li> <li>・ 排水処理施設における余剰汚泥の発生抑制の継続。</li> <li>・ 廃油の再生利用を拡大させる。</li> </ul>		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物を品名ごとに細分化して管理し、分別表と廃棄物マップを全社掲示して周知させている。また、定期的に全社員に教育を実施している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） これまでの取り組みを継続し、新たに発生する廃棄物があった場合は分別を明確にし、社員に周知させる。



## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 別紙1の通り		

## (第5面)

② 計画	【目標】別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2の通り		
※事務処理欄			



(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



